

# 提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部 会 名	小学校 国語部会

## 1 提案テーマ 『自分の考えを広げる授業の工夫～思考ツールを活用して～』

### 2 単元(題材) 「三つのお願い」

### 3 学年 第4学年

### 4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

① 国語科における基礎的・基本的な知識及び技能の習得とこれらを活用して思考力、判断力、表現力等をはぐくむための年間指導計画、評価計画及び学習指導の工夫・改善

○相手や目的に応じて自分の考えを的確に書いたり、発表したりする指導の工夫・改善

### 5 学習指導要領との関連

第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容 [第3学年及び第4学年] 2 内容

C 読むこと (1) ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

B 書くこと (1) ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

### 6 実践に向けての課題意識

国語の授業の中で、児童が戸惑いを見せる場面がある。それは、文章を読み取り表現することである。読みの作業から自分の考えをもつことに困難な児童や複数の情報を整理できず、内容が理解できない児童など様々である。しかし、それは児童のもつ能力に原因があるのではなく、思考の方法や手順を習得できていないことに原因があると考えられる。そこで、目に見える形で必要な情報を整理することが重要であると感じた。そのために、本校の研究で使っている「シンキングマップ」が有効ではないかと考えた。シンキングマップは、児童の発想を広げたり考えを整理したりするには効果的な手段である。児童自身の思考している過程が目に見えて分かるので、イメージをふくらませるのに適している。これを使い、児童の思考を可視化し、そこから順序立てて読む力(書く力)の向上につなげていきたいと考えた。

### 7 実践の概要

今回は、どのような授業の場面でシンキングマップを効果的に使えるか年間指導計画と照らし合わせて選び出し、実践を行った。本単元では、登場人物の性格を考える場面やあらすじを書く場面、考えを交流する活動の中でシンキングマップを用いた。読みを深める学習の中でシンキングマップで可視化された思考がどのような効果を表すかを見ていった。また、意見の交流の場面では少人数グループでの相談活動ではなく1対1で聞き合う「聞き合いルーレット」という方法を用いた。物語の内容や登場人物の気持ちの変化を読み取り、それぞれが設定した学習課題に迫っていった。その際、複数の相手に疑問を聞くことで、一人一人に考え方の違いがあることに気づき、比較しながら自分の考えを選択し思考を広げることに繋がっていった。

### 8 成果と課題

今回の実践でシンキングマップは様々な学習の場面で使用できることが分かった。年間を通した思考活動の積み重ねにより、児童自ら活用することを覚え、シンキングマップが思考を深める手段として身についたと思う。授業内容が発展するにつれ、より効果が得られると考える。また、聞き合いルーレットは、全員が自分のもつ疑問に積極的に迫る姿が見られ、新しい気付きに会う充実した活動となった。蓄積された情報から自分の考えをもち、友達の見聞き比較することで、新たな気付きや考えの広がりにつながった。

一方、それぞれが設定した課題から物語のもつ主題に十分に迫れなかったことが課題として挙げられる。どの課題の根本にも「友達を大切に思う気持ち」がある。聞き合いルーレットの前後を比較してみると、後の方が、より友達を思う気持ちが考えに表れているのが分かった。しかし、聞き合いルーレットの様子や友達の見聞き比較が書かれたマップを見てみると、物語の内容や叙述に沿った考えでないものもあった。

### 9 予想される協議の柱

- ・自分の考えを的確に書いたり発表したりするための工夫
- ・グループ活動の中で学習課題に迫らせるための教師の関わり方